

ISICO

Ishikawa Sunrise Industries Creation Organization

Vol
10
2001 WINTER



巻頭特集

経営革新、技術革新で不況を乗り切れ

発想と技術に磨きをかける 石川の鉄工・繊維企業12社

産学官連携情報

トライアングル

地域結集型共同研究事業

創造的企業ルポ

21世紀のチャレンジ

(有)ティーズ・モービル/エナテックス(株)
ヒロテック/協同組合 たくま石川

産業創出の支援機関紹介

ZOOM UP SUPPORTER

研究成果活用プラザ石川

情報化時代のIT活用事例

実例に学ぶ IT戦略

ウィルス対策

インフォメーション・テーブル

イシコ・トピックス

巻頭
特集

経営革新、技術革新で不況を乗り切れ

発想と技術に磨きをかけ 石川の鉄工・繊維企業12社

石川県の基幹産業として発展を続けてきた鉄工と繊維の両業界は、低成長と不況、国際競争の激化などを背景に、厳しい現状に直面している。石川県が平成12年末時点で集計した県工業統計によると、繊維業界の製造品出荷額等は前年比6.2%減の2,602億円、事業所数は同7.5%減の3,043と9年連続のマイナスを記録。鉄工業界は、製造品出荷額等こそ前年比4.1%増の1兆4,795億円と健闘したものの、景気回復のリーディング産業と思われたIT産業の失速、アメリカでの同時多発テロ発生と、景気の先行きには暗雲が垂れ込める。そんな中、苦境に立ち向かい、前向きな取り組みを見せる石川県内の鉄工・繊維企業12社を訪れた。

自社ブランド発信

景気低迷で受注が減少傾向にある中、下請け中心だった企業が、自社の企画力を高める、自社ブランドを立ち上げる、自社製品の販路を独自に開拓するなど、積極的な姿勢で企業体質の転換を図っている。

(株)室戸鉄工所

新商品開発のスピードで勝負

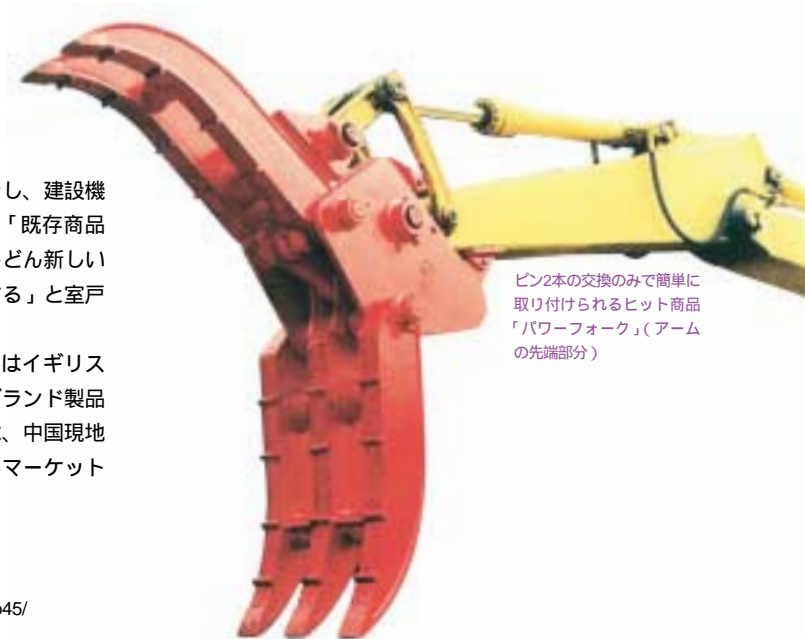
建設機械大手コマツ向けの部品を製造していた室戸鉄工所は、昭和58年から自社ブランド製品として建設機械用アタッチメント(周辺機器)の開発・製造・販売を始め、主力事業へと育て上げた。国内に100社以上の競合メーカーがひしめく中において、工事現場での省力化を図るヒット商品を次々と生みだしている。

技術力や商品力もさることながら同社の強みは並外れた開発スピードにある。一つのアイデアが平均1カ月で商品化され、受注してから24時間で納品される

商品も多い。公共投資が減少し、建設機械市場は縮小する一方だが、「既存商品への需要が減った分だけどんどん新しい商品を開発し、市場へ投入する」と室戸眞吾社長は話す。

3年前にはアメリカ、昨年はイギリスの企業と業務提携し、室戸ブランド製品を現地で生産、販売。今後は、中国現地企業との提携も目指し、海外マーケットも視野に入れる。

小松市串町工業団地1-3
TEL 0761・44・2111
<http://www.nsknet.or.jp/muroto45/>



ピン2本の交換のみで簡単に取り付けられるヒット商品「パワーフォーク」(アームの先端部分)

(株)ニシムラジグ

営業力、機能美高め販路を拡大

治工具メーカーのニシムラジグでは、工作機械メーカー・松浦機械製作所(福井県)の下請けとして培ってきたノウハウを生かして昭和50年代から本格的に自社製品開発をスタートさせ、今では、委託生産と自社製品の売り上げが、ほぼ肩を並べるほどになった。

大手メーカーが参入しないニッチ商品を得意とし、開発にあたっては「既存の技術や設備、販路が70%使えるものであって、合理性に富み、納得感のあるもの」(西村明社長)と、極力リスクを減らす戦略を取ってきた。

また、「販売には製造の10倍の力が必要」を信条とし、平成3年、販売会社として「エヌ ジェイ アイ」を設立。3人の営業マンが全国を飛び回り、販売はもちろん、ユーザーニーズの吸い上げ、マーケティングに大きな役割を果たす。

平成7年には、製品に付加価値をつけたいとの思いから、県デザインセンターが実施したドイツ工業デザイナーとのデザイン共同開発事業にも参画し、機能美を販路拡大の武器にした。

これまでに、台湾、アメリカ、イギリスで計13件の国際特許を取得するとともに、台湾企業にも技術供与を行い、今後、海外への販路拡大に夢を馳せる。

金沢市北安江町4-11-32
TEL 076・223・2727



西村明代表取締役



ヒット商品の一つで、薄物・細物の加工に適した「ミラクルバイス」

(株)出口織ネーム

オーダーメイド感覚の自社ブランド品に注力

出口織ネームでは、平成9年に企画から製造、販売までを手がける自社ブランドとして「origin」を立ち上げた。独自の商品を製造するために長年改良を積み重ねてきた織機や、他社に先駆けて導入したIT対応の最新織機の用途を、織ネーム以外の分野へと展開させたもので、商品ラインナップはファッション用品やインテリア用品など100を超える。

「origin」の商品は、40代以上の女性をターゲットとするため、同社の80%を占める女性社員が企画に積極的に参加している。地元の物産館や全国の百貨店で催される物産展で販売するほか、訪問販売やイン

ターネット販売もしており、売り上げは堅調に推移している。このところリピーターが増え、客単価も伸びてきた。

「同じ商品でも配色や柄が違うなど、限りなく一品ものに近いものを目指す」と出口勉社長は話し、客の体型や好みに合わせてオーダーメイドも手がける。ユニクロの出現以降、安くて良いものが当たり前となる中、これも中小企業が活路を見いだす術と言えそうだ。

石川県鶴来町本町4丁目25番地
TEL 07619・2・3232
<http://ann.co.jp/origin/>



自社ブランド商品は地元鶴来町の「ふるさと館」で常時販売されている

(株)森山鉄工

プロ仕様のアルミ脚立が大ヒット

森山鉄工では、昭和63年の設立以来、チェーン大手の大同工業(加賀市)から委託される駅舎向け車いす用階段昇降機などの製造業務をメインとしてきた。しかし、繁忙期が一定の

期間に集中することから、業務に余裕のある時期に作り置きできる商品をと、自社製品の開発に乗り出した。

同社の一番のヒット商品は、アルミ製脚立「MTステップ」だ。通常のアルミ脚立と比べれば10倍近い価格だが、工事現場などで使用するプロ向けとして、ここ数年飛躍的に売り上げを伸ばしている。人気の秘密は、優れた耐久性である。普通のアルミ脚立は使っているうちにがたつくが、MTステップは、踏み板と脚の接合部分に鉄製部品を組み込むことで摩耗を防ぎ、耐久性を格段に向上させた。販売にあたってはホームセンターなど量

販店ではなく、業務用品などを扱うカタログの通信販売を利用したのも成功要因の一つだ。平成6年の商品化から、ユーザーの意見を取り入れながら改良を加え、4種類にバリエーションを広げた。現在、同社では自社製品の売り上げが25~30%を占めるまでになり、「将来的には50%以上にしたい」(森山清次社長)と意欲を燃やしている。

加賀市大聖寺下福田町8-104
TEL 0761・72・8686
<http://www.moriyamatekkou.co.jp>



森山清次代表取締役



プロ仕様人気のMTステップ。そのほか、台車用リフトなどの自社製品がある



出口勉代表取締役

海外進出

石川可鍛製鉄(株)

鋳物業界でいち早く中国進出

鋳物メーカーの石川可鍛製鉄は、中国・蘇州市の合弁会社「蘇州石川製鉄有限公司」に増資して新工場を建設中で、来年1月の操業を予定している。

同社では、昭和59年に金沢市の姉妹都市・蘇州市に自動鋳造型機を寄贈したのをきっかけに、現地での技術指導や中国人研修生の受け入れを継続的に行い、技術交流を進めて平成6年、同市に合弁会社を設立した。

機械操作や鋳物の製造工程に精通する

人材を育ててきた結果、現在、中国工場は現地スタッフだけで運営されている。

今のところ、中国工場での製造比率は、日本向け50%、中国向け50%だが、新工場が稼働すると、生産能力は現在の5倍に向上し、長引く不況の中で迫られるコストダウンに貢献するほか、今後はアジア、中国市場への販路拡大にも追い風となる。

河北郡宇ノ気町宇気19
TEL 076・283・2128



塩谷哲生代表取締役



新工場の起工式の様子

県内の製造業は中小企業が圧倒的に多く、国内シェアで好位置を占める個性的なニッチトップ企業がたくさん存在している点も大きな特徴だ。他の企業にはまねのできない技術や、量産品にはない高付加価値の商品づくりなど、独自技術への特化によって順調に業績を伸ばす企業も多い。

独自技術への特化

(株)ネイブ

3次元造形の技術とスピードに持ち味

自動車、バイク、OA機器などの工業製品には、量産に先立って試作モデル、試作型、試作品、検査ゲージなど、さまざまな試作開発用ツールが必要とされる。ネイブは、最新のCAD/CAM技術によって3次元形状データを作成し、熟練した手技でそれらを作り上げる。ニーズの多様化に合わせて多品種少量生産が進む中で、同社の試作支援業務は多くのメーカーから信頼が寄せられている。

同社の持ち味は、多種多様な3次元CADを駆使して3次元データを作成し、さまざまなツールを造形する技術とスピードにある。デザインからモデリング、金型から検査ゲージ製作まで一貫して社内に対応できる国内有数の企業である。その分コストや納期を圧縮し、他社より優位性を確保している。この11月には、インターネットを利用した自動見積り受発注システム(特許出願中)を完成し、これを運

用することにより、さらなる開発期間短縮に結びつける。

新しい試みとして、一般消費者向けに3次元造形技術を生かした立体パズル(特許取得済)も製作中だ。このパズルは、来春から販売を開始する予定で、教育用やリハビリ用に需要を見込んでいる。

加賀市弓波町2番地
TEL 0761・75・8800
http://www.neive.co.jp/



「いろんな仕事があるから若手の成長も早い」と西出大進代表取締役

西村織物(株)

ローテクがものを言う新素材が好調

西村織物では、世界で一番薄いオーガンジーが順調に売り上げを伸ばしている。オーガンジーは、ドレスなどに使われる繊維素材であり、同社の主力商品である。

平成10年に開発した超極薄オーガンジーは、細い糸を使って素材を極限まで薄くすることで透明感や光沢、風合いに新感覚を表現した。また、糸を先に染めてから織ることで、縦糸と横糸の色を変えて織ることを可能

にし、光の角度によって色が玉虫色に変化する。糸を先に染めてから織る「先染め」は、糸にダメージを与えやすく難しい技術であり、糸を巻き返す時の張力のとり方など、機械で測定できるものではない職人の経験と勤がものをいうローテクの部分だ。

また、超極薄オーガンジーは、商社や問屋を経由していた従来の流通ルートではなく直販を試みた。今年8月には全32色の在庫を整備し、インターネットで

顧客が在庫状況を確認できるようにした。賃加工に依存する体質からの自立は、非常に難しいのが現実だが、生産拠点の海外シフトが止まらない今、自社企画品の販路開拓に力を入れ、卓越した商品力があれば不可能ではないのかもしれない。

石川郡美川町湊井1-84
TEL 076・278・3327
http://www2.dango.ne.jp/birodo/nishimura.htm



西村重信代表取締役

(株)クロダレース

細幅レースで国内2位のシェア



黒田磨代表取締役

女性のインナーファッション用レースを製造、販売するクロダレース。幅が6.5ミリから15.0ミリの細幅レースでは、国内2位のシェアを誇る。

同社の特徴は何と言っても商品開発力だ。黒田磨社長は「女性用インナーファッションは流行の激しい業界で、旧態依然とした商品を作っているだけでは生き残れない。不況時だからこそ積極

的に商品開発していかなければ」と意気込む。オリジナリティーあふれるレースを開発するため、設計には10人の男女デザイナーが腕を振るうほか、本場ヨーロッパのレースメーカーを手本に、糸作りから染色、加工、販売までを同社管理の元で行い、独創性に富んだ商品開発を可能にしている。

今年5月にはISO9001を取

得。編機はコンピュータ化が進んでいるが、多品種少ロット生産に対応した場合、糸の交換作業が頻繁になり品質にムラが出やすくなるため、均一でハイクオリティーの商品を生み出す高度な技術力の継承に力を入れる。

小松市国府台5丁目30番地
TEL 0761・47・8111
http://island.qqg.or.jp/hp/kuroda

石川技研工業(株)

ステンレスクラッド管でシェア全国一を誇る

石川技研工業は、鉄パイプの外側を厚さ0.1ミリの極薄ステンレスで覆ったステンレスクラッドパイプで国内ナンバーワンのシェア40%を誇る。

クラッドパイプは、外観の美しさや耐食性の高さといったステンレスの長所を保ちながら、ステンレスの約1/2の価格に抑えられるとあって、建築資材などに幅広く使われている。

ステンレスと鉄の継ぎ目を目立たないように、かつ遊離しないように溶接する技術や、表面を滑らかに美しく研磨する技術力が同社の持ち味だ。かつては、内側の鉄パイプは外部から購入していたが、平成7年から自社生産に切り替え、コストダウンと納期短縮を実現し、競争力の強化を図った。

しかし、クラッドパイプは成

熟市場であり、今後はより耐久性が高く、腐食しにくいオールステンレスパイプや小径・極細のパイプ、チタン製パイプなど特殊鋼材事業を拡大する方針である。

松任市出合島町1272-1
TEL 076・277・1145
http://www.i-giken.co.jp



林義之代表取締役社長

日高機械

ニーズに応じたオリジナルの機械を製作

木工機械の製造、販売を手がける日高機械。同社の商品は、50万円台の汎用機械から億単位のシステムラインまで多岐にわたるが、規格品は一つもない。すべてがユーザーの要望に合わせたオリジナルの機械だ。

「どんな要望も拒まない」と日高明正社長は胸を張り、それを可能にするのは同社が長年培ってきた技術力である。例えば、昭和60年代には同業他社に先駆

けて木工機械のNC化に取り組む、独自の多軸NCコントローラを開発。このコントローラを搭載した木工機械を全国の展示会、国際見本市にシリーズ化して出品し、好評を得た。

最近では、木工機械のノウハウを生かして、新幹線700系のアルミ製カウル部分を加工する専用機械を開発するなど、ますます業容を広げる。

工場内には大型の工作機械が

並ぶが、いずれも古い工作機械に新しい技術を移植するレトロフィットでチューニングを施したものである。低コストで最新施設によみがえらせ、コスト削減に威力を発揮している。

羽咋郡志賀町徳田
TEL 0767・37・1311
http://www.hidaka.gr.jp/



社寺、仏閣用の木工機械の受注も多い。写真は、梁材加工機

角出合織(株)

量から質へ、企業体質の転換急ぐ



角出伸一代表取締役

角出合織も、低コストが売りの中国製品との競争を強いられる繊維業界にあって、質の高さで勝負する企業の一つだ。

同社では昨年10月、北陸にも数台しかない340センチ幅の生地が織れる超幅広の織機3台を導入した。このうち2台は電子制御装置によって4色の柄物を織ることができ、主にボイルカーテンと呼ばれる薄手のカーテンを製造している。

また、分割構造の超極細繊維を使った織物も同社の強力な戦力である。この繊維は織った後に薬品加工することで収縮し、

極端に目の細かな布地になる。ワイピングクロスや研磨用の布として、IT関連や医療機器関連メーカー向けに需要を伸ばすほか、エルメスやマックスマラといった世界の一流ブランドのコートなどにも採用されている。

「既製品からはみ出した商品を作りたい」。そう話す角出伸一社長の言葉には、定番品の量産から高付加価値品の生産、販売へと企業体質転換に向けた思いがにじむ。

加賀市動橋町ネ22
TEL 0761・74・1640

天池合織(株)

開発重視で非衣料分野を拡大



天池源受代表取締役社長

天池合織は、粘着テープや肥料袋、シート地などの工業資材、カーテンなどのインテリア、スポーツウエアの三つを柱に事業展開している。高付加価値商品の多品種少量生産が特徴で、ウォータージェットなど95台の織機に対して、社員が62人と多いのも、開発を重視する同社の姿勢の表れと言える。

例えばカーテンならば、既製品の糸だけでは商品開発に限界

があることから、意匠系の製造をスタートさせ、オリジナリティを追求。工業資材では、他社ができなかった長方形の断面を持つビニール糸を、古い織機に手づくりで改造を重ね織物にしてみた。この素材は、運送関係など業務用を中心に粘着テープとして商品化されている。

「誰でも作れるようなものは最後は価格競争に巻き込まれてしまう」と天池源受社長が語るよ

うに、中国が世界の工場としての地位を固める昨今、繊維業界にあって付加価値商品と非衣料分野への拡大を図ることで企業力強化につなげる。

七尾市国下町部59-1
TEL 0767・57・3633



粘着テープは、ビニール製だが簡単に手で裂くことができる

キーワードは、“フォーカス”&“スピード”



(社)石川県鉄工機電協会
会長 澁谷弘利

県鉄工機電協会では、会員を対象に四半期ごとにDI(業況判断指数)調査を行っています。最新の7-9月期の調査結果によると、全調査項目12のうち9項目が前回よりも悪化しており、さらなる景気低迷を表しています。会員の自主廃業や倒産も今年1年で80件近くに上りました。IT産業の急減速と米中枢同時テロの影響で、ますます悪化が懸念されています。竹中大臣には、就任時、今年度のGDPがマイナスにならないよう経済運営を行うと言った約束を果たしてもらいたいと強く願っています。

このような危機的な状況の中で、企業が生き残りをかけるために、また、かつてアメリカで起きたような製造業の空洞化を起こさないためには何が必要でしょうか。そのキーワードは、“フォーカス”と

“スピード”です。

“フォーカス”とは、すなわち焦点を絞ることです。あれもこれもと欲張るのではなく、既存ユーザーのニーズをより深く掘り起こすこと、また、得意分野に特化して「改善・改革・開発」の3カキを徹底して進め、世界でトップレベルの技術を育成すること、そして徹底的なコストダウンを行うことが重要だと思います。

“スピード”とは、“フォーカス”を素早く進めることであり、判断や決定をいち早く下すということです。トップの決断が遅ければ命取りになりかねません。そのためには、判断に必要な情報を常に収集しておく必要があるのは言うまでもありません。

「知性」「環境」「情報(IT)」をベースに

経済のグローバル化が進展する中において、化合繊維製品の輸入急増は国内原系メーカーの生産削減とアパレル業界の縮小をもたらし、素材産地である石川県繊維業界に深刻な影響を与えています。

これからは、従来のような機械的なものづくりから脱却し、「知性」「環境」「情報(IT)」をベースにしたものづくりを推進するとともに、合織の特徴である“機能性”を徹底的に追求することにより、競合国との明確な国際分業を図らねばなりません。

また、マーケットをグローバルに求めるためには、情報技術を駆使して世界各国の取引先と受発注から製品の配達に至るまでの供給連鎖体系(サプライチ

ェーンマネージメント)構築を進め、輸出を推進することも必要です。

そのほか、非衣料分野での新規用途開拓にも積極的に取り組むことが必要です。

大切なのは技術と創造性に培われた企業の独自性(オンリーワン)を養成することではないかと思えます。

あわせ、繊維セーフガード(TSG)をはじめとする通商対策、国際水準に照らし合わせた電気料金の設定や賃金体系の見直しなどによる高コストは正問題、金融対策の解決が愁眉の急務であると考えています。



(社)石川県繊維協会
会長 丹後清

Information

(財)石川県産業創出支援機構では、経営革新、技術革新をする企業の方に対し、様々な支援サービスを行っております。

技術、資金、経営など専門家が具体的・実践的に窓口及び派遣によりアドバイスをいたします。インターネット上の産業のポータルサイト「DGnet」(http://www.isico.or.jp)では企業経営に必要な情報の検索が可能です。また、オンライン上での経営・技術相談を受ける事が可能です。研究・開発に必要な機材、販路開拓の資金、各種融資制度や補助金のご紹介、相談を行います。新たにビジネスに挑戦する方のために事業スペースを低料金で貸し出しております。新たな技術開発に際し、研究機関の専門家の方とのコーディネートを行います。

地域結集型共同研究事業

石川の研究ポテンシャルを最大限に生かし 痴呆の早期診断支援技術の確立を目指す

科学技術振興事業団(JST)は、平成9年度から、地方の科学技術の研究ポテンシャルを結集して世界水準の研究分野を開拓する「地域結集型共同研究事業」を全国各地で進めています。平成13年度プロジェクトの一つに、石川県の「次世代型脳機能計測・診断支援技術の開発」が採択され、産学官によるライフサイエンス分野での新産業の創出に向けた研究開発が、スタートを切ります。

新たなリーディング産業の創出
痴呆なき高齢社会の実現

「次世代型脳機能計測・診断支援技術」とは、痴呆の早期発見を可能にするための、革新的な計測技術を医療現場に提供しようとするもの。

研究には、金沢工業大学、北陸先端科学技術大学院大学、金沢大学、先端医学薬学研究センター、県工業試験場、京都府立医科大学の大学・公的研究機関のほかに、澁谷工業、イーグルテクノロジー、石川製作所、PFU、横河電機、大日本精機などの民間企業が参加する。

最終的な目標は、日常の定期健康診断で痴呆が発見できるシステムの実用化だ。

石川県は、高齢人口(65歳以上)比率が、平成7年に16.2%と全国平均を1.6ポイント上回り、平成11年には県内の41市町村のうち14市町村で高齢人口が25%を超えるなど、全国平均を上回る早さで高齢化が進んでいる。

この高齢化と切っても切れない問題が「痴呆」だ。高齢社会の進展はそのまま痴呆性老人の増加を生み、それに対応する社会的な負担を膨らませている。

また、痴呆の早期発見・早期治療が可能になれば、県民の健康・福祉の増進に役立つ。

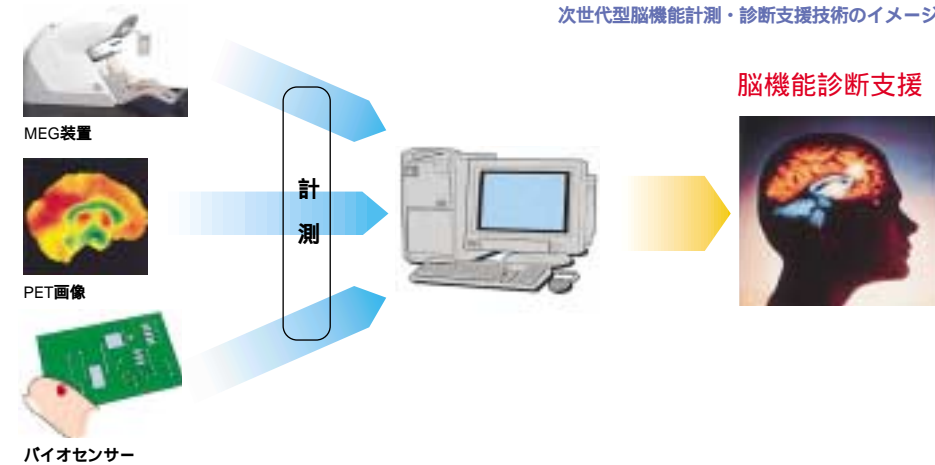
つばかりでなく、脳医学計測機器や、環境・食品など他の分野への応用により、新たなリーディング産業の創出にもつながるというねらいから、「次世代型脳機能計測・診断支援技術の開発」に石川県の産学官が協力して取り組むことになったわけである。

脳機能計測技術のポテンシャルの高さ

共同研究を進めていく上での最重要課題は、身体に負担をかけず、しかも極早期に正確な診断ができる技術の確立である。

脳機能の計測技術や、画像診断用医薬の開発に関するノウハウが不可欠であり、こうした基礎的技術が、石川県の高等教育機関や公的研究機関で蓄積されてきたことが、強みになっている。

例えば、金沢工業大学では、超電導エレクトロニクス技術を生かしたMEG(超高度感度脳磁計)の開発と臨床応用で世界のトップクラスに位置している。羽咋市にある先端医学薬学研究センターでは、神経伝達の異常検出用PET(陽電子放射断層X線写真法)診断薬の開発設備と高度な画像診断技術を持っており、北陸先端科学技術大学院大学では、人体内での微量な化学物質の存在を把握するのに適したバイオセンサ



石川県の独自性にあふれるポテンシャル

金沢工業大学
MEGの開発に必要なすべての基盤技術を保有。平成12年1月には、横河電機(株)と共同開発した横型MEGが厚生省の医療用具の製造承認を取得。

財団法人先端医学薬学研究センター
全国に8カ所ある臨床研究・非臨床研究が共に可能なPET診断薬合成施設の一つ。加えて、医薬品申請の薬効評価については、厚生労働省の法的基準をクリアしている全国2カ所のうちのの一つ。

北陸先端科学技術大学院大学
バイオマイクロアレイ技術による超微量物質の濃度検出技術とその実用化、ベンチャー企業の育成に高い実績。

金沢大学医学部
日本で最初に核医学講座を設置し、PET診断に高い実績。また、「ものわずれ外来」を設置し、痴呆研究に積極的に取り組んでいる。

一技術を研究中だ。
さらには、「ものわずれ外来」を設置する金沢大学医学部には、痴呆に関する多くの臨床・研究データがそろっている。

5年で基盤技術の実用化を

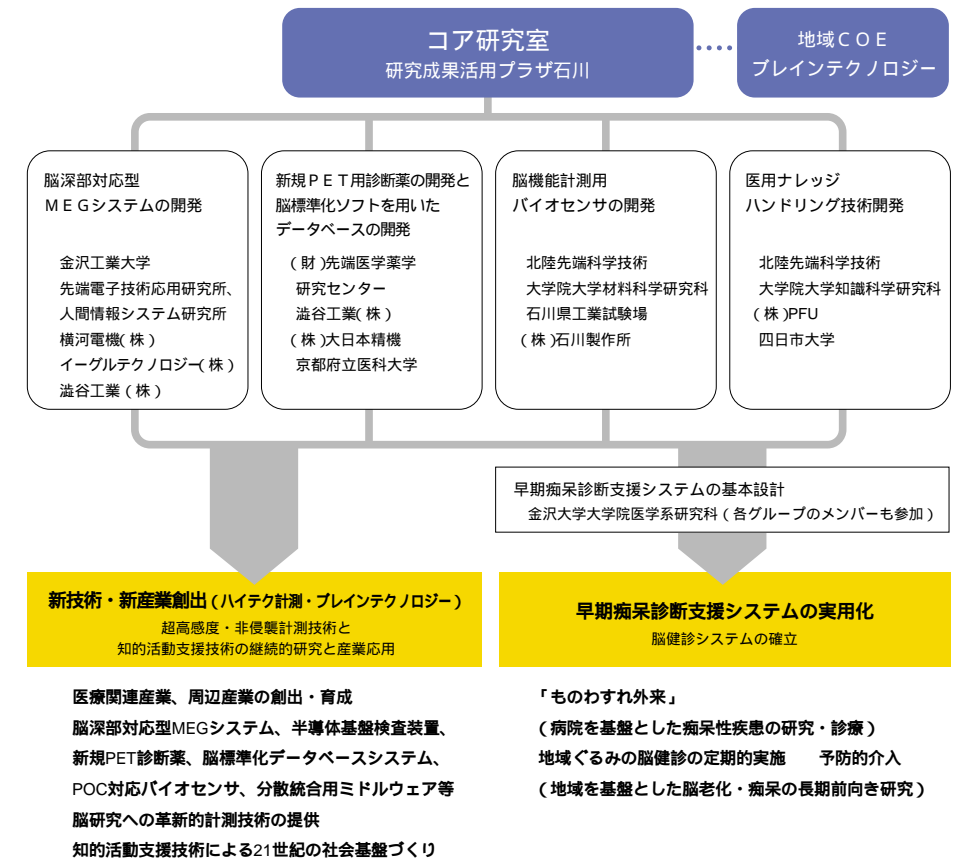
石川の地域結集型共同研究事業では、辰口町のいしかわサイエンスパークに完成した研究成果活用プラザ石川にコア研究室を置き、地域COE(中核的研究拠点)に育てていく計画である。

同事業には、科学技術振興事業団(JST)から5年間で最大15億円の研究資金が支援され、中核機関である県産業創出支援機構では、「5年間に基盤技術の実用化と企業化研究、早期痴呆診断支援システムの基本設計を完成させ、6年目を以降に医療現場で使用できるシステムや装置の商品化にこぎつけたい」考えた。

次世代型脳機能計測・診断支援技術は、外国製品が圧倒的なシェアを占める脳医学関連の計測機器の市場で、十分な競争力をもって参入できると期待されている。医学以外の広い分野への応用が見込まれており、同技術は新たなベクトルでの地場産業の発展にも貢献しそうだ。

事業概要 次世代型脳機能計測・診断支援技術の開発

事業総括 澁谷弘利 [(社)石川県鉄工機電協会展長]
研究統括 鈴木良次 [金沢工業大学人間情報システム研究所所長]
中核機関 (財)石川県産業創出支援機構 [ISICO]



(有)ティーズ・モービル

ベンチャー

輸入家具と同品質のものを半額以下で製造

ティーズ・モービルが扱っているのは、20～30万円の価格帯の高級家具で、材料の輸入から開発・製造までをすべて自社でこなしている。

従来、高級家具の多くは、イタリアなどからの輸入品がほとんどで、価格も100万円を越すものが多い。しかし、同社では「高品質を買いやすい価格で」をコンセプトに、北米、中国、イタリアなど世界各地から最高級の素材を調達してコスト圧縮を図り、材質・デザインはもとより耐久性にも優れた家具を、輸入品のおよそ半以下の価格で提供できるようにした。

社長の越村武史氏は、新たな需要の掘り起こしを目指し、高級家具への志向が根強い20代後半から30代をターゲットとして、商品を製作していきたいとしている。

マーケティング重視で消費者ニーズをつかむ

同社が消費者ニーズを意識した経営戦略を取るようになったのは、会社設立前、越村社長が新会社のビジネスプランを持ってISICOを訪れた際、経営支援アドバイザーから受けた助言がきっかけだった。特に、マーケティング面に関して、アドバイスは具体的な調査の手法にまで及び、高級家具を求める消費者のタイプをつかむ上での貴重なデータとなっている。設立後も、アドバイザーとは良好な関係が続いており、経営や内部管理における助力は大きいという。

現在の製造体制は、バーチャルショップを運営する取引先からの依頼に応じて家具をデザイン、製作しているが、将来的には自社ブランドの確立も目指し、良質な家具の開発に取り組んでいくつもりだ。



DATA
 本社・工場 松任市松本町1114
 TEL 076-277-6940
 代表者 越村 武史
 設立 平成12年7月
 資本金 400万円
 社員数 7名
 事業内容 高級家具のデザイン・製造

(株)ヒロテック

SOHO

お買得情報をメール配信

ヒロテックでは今年2月から、スーパーなどのお買得情報をメールで無料配信する「買即ドットコム」を運営している。登録した会員には、日曜祝日を除く毎日、お買得の商品情報が届く仕組みで、30代の女性を中心に1,200人の規模を誇るサイトになっている。

現在、買即ドットコムには、金沢市と近郊のスーパーやドラッグストアなど約180店舗が加入している。人気の秘密は、会員の希望する店舗の情報だけを受信できることに加え、外出や勤め帰りに店舗に立ち寄れるよう、コンピュータのほか携帯電話にもお買得情報を配信し、利便性を高めている点にある。

ビジネスモデル特許を出願済

代表の広瀬氏は、大学卒業後、商社でコン

ピュータ関係の仕事に就き、14年前に独立して、企業のソフト開発やコンピュータのマニュアル制作を始めた。そして、「外出先で手軽にスーパーのお買得情報を知りたい」という主婦ならではの発想から生まれたのが「買即ドットコム」だ。

このサイトのシステムを支えるのはSOHO同士のネットワーク。河北以南の県内各地に点在する10人のSOHOスタッフが、それぞれ自宅周辺を担当区域とし、自宅に入る折り込みチラシをチェックしてお買得情報を選びすぐる。スタッフはほとんどが主婦なので、ユーザーと同じ価値観で情報を選別できる。

広瀬氏は「買即ドットコム」のビジネスモデル特許を出願済で、「買いたい商品がどの店舗で安売りしているかを検索できるシステムを開発中です。地域密着型のサイトとして定着したい」と話している。今後は富山、福井を手始めに、全国展開も視野に入れてサービスの充実に努めていく考えだ。



DATA
 事業所 金沢市保古1丁目148-1
 TEL 076-240-1808
 代表者 広瀬 誓
 設立 昭和63年
 社員数 4名
 事業内容 「買即ドットコム」の運営、ソフト開発、マニュアル制作、Webコンサルタント
 URL http://www.kai-soku.com/

エナテックス(株)

新分野進出

他社の優秀な技術を商品化

屋根の融雪装置などのメーカーとして知られるエナテックスは、平成12年から医療分野にも進出、「流水式洗浄除菌水生成装置」の販売を始めた。専用の原液を電気分解して、高い除菌効果を持つ電解機能水を生成するもので、院内感染を引き起こすMRSAなどに対しても優れた効果が確認されているという。

病院や飲食店など、衛生面に敏感なクライアントからの受注が相次ぎ、全国で着実に販売実績を伸ばしている。実はこの製品は、大阪市内のメーカーが大阪大学と共同で開発した技術を、以前からその有用性に着目していたエナテックスが商品化したものである。

技術とニーズをつなぐコーディネーターに

今回のケースのように、同社が各企業の持

つ独自技術や知識をニーズと結び付けるコーディネーターの役割をし、製造も外部に任せ形を取る理由について、黒保勝郎社長は、「生産ラインの拡大は負担が大きく、事業の幅も限定される。目まぐるしく変化する時代やニーズにも即応できなくなるから」と説明する。いわば、大企業にない身軽さを保ちながら、分野を問わない多彩な事業展開を実現できるのが強みというわけである。

同時に、この手法は、他社の優れた技術やノウハウを、自社の製品にも生かせるメリットがある、と黒保氏は指摘する。同社ではこれまでに、石油タンクのオイル漏れ検知器を開発した際、オイルに引火する危険を、ある会社の光ファイバー技術を利用することで解決したことがある。

今後も、同社では中小企業の独創的な技術を吸い上げ、画期的な製品開発を目指すとともに、自社の技術力向上を図っていく考えだ。



DATA
 本社 金沢市間町2-259-2
 TEL 076-291-2121
 代表者 黒保 勝郎
 設立 昭和56年9月
 資本金 4,000万円
 社員数 30名
 事業内容 屋根融雪システムの製造販売、ロードヒーティングシステム・床暖房システム・空調設備の設計施工、給排水システム配管の販売及び設計施工、風力・ソーラーシステムの製造販売、流水式洗浄除菌水生成装置の販売

協同組合たくま石川

異業種交流グループ

高性能で安価な風力発電の開発に着手

協同組合たくま石川は、今年4月から、家庭用風力発電装置の開発に着手している。

環境の時代を反映して、小型風力発電機の商品化はかなり進んでいるが、性能的にはまだ小さな電灯がつけられる程度で、家庭で使う電力をまかなうものまでできていないのが現状。

同組合では、10万円ほどの低価格で、今まで以上に高性能な風力発電機を開発を目指しており、完成すれば画期的な商品となる期待大である。現在、風力発電施設の視察や技術的なアドバイスを受けるために大学を訪ねるなどしている段階だ。

異業種の技術を融合した立体陶板を商品化

たくま石川は、製造業をはじめとしたさま

ざまな業種の若手経営者が中心となり、昭和63年に組織された。

これまでに開発した商品には、ハンコと陶板の技術を取り入れた立体陶板がある。立体陶板は、文字や絵に凹凸や点字があるのが特徴で、目の不自由な人にも分かるよう看板や案内サイン、表札などに使われている。「デザイン性が高い」と評判で、大手デパートでも販売されている。

メンバーの川田裕康氏は、「陶板造りには、いろいろな技術的問題がありましたが、試行錯誤の末、なんとか商品化までこぎつけました。今回の風力発電もみんなの力を結集し、完成させたいですね」と意欲を見せる。



文字や絵が凸凹様になっている立体陶板の表札



DATA
 事務局 松任市安吉町198番地
 TEL 076-274-1018
 代表者 中村 昭三
 設立 昭和63年4月
 構成員数 13社
 事業内容 新商品の研究開発、異業種間の情報交換
 URL http://www.takuma21.com

ZOOM UP SUPPORTER

技術開発からマネジメントまで、石川県産業創出支援機構と力を合わせて、皆さんをサポートする機関や団体をご紹介します。

シーズを芽吹かせ産業としての大樹に

研究成果活用プラザ石川 総館長 慶伊富長 / 前北陸先端科学技術大学院大学学長（石川県産業創出支援機構顧問）
館長 寺井直則（前石川県工業試験場長）



上) さまざまな実験や試験研究を想定し、整備された研究室の内部



右) セキュリティー対策に万全を期し、各研究室へはカードで出入りする



研究成果活用プラザ石川の全景

産学官の共同研究を力強くバックアップ

「研究成果活用プラザ石川」は、今年11月、辰口町の「いしかわサイエンスパーク」内にオープンした、産学官連携の共同研究及び研究成果の育成、活用、社会還元を戦略的に行う施設だ。科学技術振興事業団（JST）が運営主体となり、大学や公的研究機関と企業が合同で実施する研究を対象に、JSTがそこに加わる形で、館内に研究スペースを提供する。設備費や人件費なども負担し、プラザ全体で年間5億円程度の研究投資を行う。

内部には、入居者が研究用途に応じてさまざまに利用できる試験研究室のほか、交流ラウンジや仮眠室など憩いのスペースも設置され、より良い研究のための環境が整備されている。

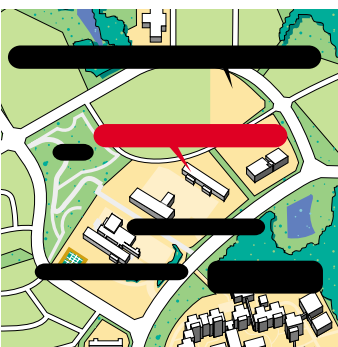
また、「科学技術コーディネーター」が常駐し、協力して新事業の開発に取り組める環境づくりや、大学側、企業側が求めるパートナー探しなどに取り組む。同プラザの寺井直則館長は、「大学などの研究成果を発掘し、それを生かせるセンスと技術を持った企業にコーディネートする形で、産学官連携を支えていく」と話す。

お問合せは
科学技術振興事業団研究成果活用プラザ石川 能美郡辰口町旭台2-13（いしかわサイエンスパーク内）TEL 0761(52)0781 FAX 0761(52)0787

特色ある石川独自の成果に期待

研究成果活用プラザは、現在石川県を含めた全国5カ所に設置され、各地域の産業基盤や大学の特色を生かした地域事業創出を目指している。寺井館長は、「石川県は中小企業が多岐にわたり、幅広い産業構造を持っているのが特徴だ。大学も総合大学が多いため、特定の産業に片寄らず、多様な分野での成果が期待できるのではないか」と分析している。

プラザ内で行う研究課題の第一次公募はすでに締め切り、現在、応募のあった中から選定作業が行われている。最終的には7～8件を採択し、2年から3年の間、施設や人材、資金の面で協力しながら、研究を実施していく予定だ。また、ISICOが管理法人を務める「地域結集型共同研究事業」（8ページに詳しく掲載）の拠点研究施設としても活用される。痴呆症の早期診断技術の開発を目指して、脳機能測定の研究を進めるもので、産学官連携による一大プロジェクトとして注目を集めている。



「W32/Nimda（ニムダ）ウイルス」による被害が世界中に広がり、県内企業でも感染事例が多数報告されたことは皆さんの記憶にも新しいことと思います。今後も、新たなウイルスの出現が予想される中、企業の危機管理を考える上でも、ウイルス対策を講じることは急務となっています。そこで、今回は石川県情報システム工業会に加盟する（株）PFUの大杉肇さんにウイルス対策について、お話をうかがいました。

IT社会最大の脅威 ウイルスから企業情報を守れ！

最新のワクチンソフトを備えよ

ウイルスの感染経路の約9割がメールからだ。最近のウイルスは、いったん感染すると、アドレス帳に登録されている相手先のパソコンに自分自身のコピーを勝手に送信する悪質なタイプが多いのでやっかいである。

また、ウイルスに感染すると、データの消失や復旧に時間とコストがかかり、今やパソコンが日常業務のあらゆる部分に浸透している中で、膨大な損失をもたらす。にもかかわらず、県内の中小企業の間では、ウイルス対策への意識が依然として低いのが現状ではないだろうか。

ソフトウェアの開発や情報処理事業を支援している情報処理振興事業協会（IPA）では、「パソコン・ユーザーのためのウイルス対策7カ条（右記）」をまとめている。この中でも特に重要なのは、ウイルス検査の際に使用するワクチンソフトを常に最新のものにしておくことである。ワクチンソフトは、8,000円ほどで市販され、年間、数千円を払えば、最新のものに更新することができる。ワクチンソフトを常に最新の状態で正しく使っていれば、ウイルスの検知や駆除が可能である。

しかし、万が一、ウイルスに感染した場合は、被害が拡大しないように右記の手順で対処してほしい。

ウイルス対策には、社内で明確なセキュリティの指針を示す必要があるだろう。石川県情報システム工業会では、昨年度に引き続き、セキュリティに関するセミナーを開催する予定で、県内企業の方々に参加していただければと思っている。

主なウイルス対策ソフト

- ノートン・アンチウイルス2001（シマンテック）
<http://www.symantec.co.jp/>
- ウイルススキャン Ver 5.1（ソースネクスト）
<http://www.sourcenext.com/>
- ウイルスバスター2001（トレンドマイクロ）
<http://www.trendmicro.co.jp/>



PROFILE

大杉肇（おおすぎはじめ）
1961年3月4日生まれ。（株）PFU OSSC 事業部システムサポート部プロジェクトマネージャ。（社）石川県情報システム工業会 情報交流分科会所属。現在、県内のIT企業の積極的な情報交換の場とするため、ワーキンググループ「セキュリティ研究交流会」の発足に力を注いでいる。

パソコン・ユーザーのための ウイルス対策7カ条

- 最新のワクチンソフト（左下の例）を活用すること
- 万一のウイルス被害に備えるためデータのバックアップを行うこと
- ウイルスの兆候を見逃さず、ウイルスの感染の可能性が考えられる場合、ウイルス検査を行うこと
- メールの添付ファイルはウイルス検査後開くこと
- ウイルス感染の可能性のあるファイルを扱う時は、マクロ機能の自動実行は行わないこと
- 外部から持ち込まれたフロッピーディスク及びダウンロードしたファイルはウイルス検査後使用すること
- コンピュータの共同利用の管理を徹底すること

もしも、ウイルスに 感染した場合は・・・

- 感染したパソコンの使用を直ちにやめる
- 社内LANにつながっている場合は、LANケーブルを抜き、被害の拡散を防ぐ
- 社内でのウイルス被害の範囲を特定する
- ウイルスに感染した理由、原因を追究する
ディスクが感染経路だったならば、そのディスクを使用しない
- 感染したパソコンに対処する
感染したファイルを捨てたり、場合によってはアプリケーションをインストールし直す

社内で、被害の拡大や再発を防止するための対策について検討する。

ウイルスに感染した場合、被害の拡大や再発を防止するため、感染状況を情報処理振興事業協会（下記）までお知らせください。

情報処理振興事業協会（IPA）/ E-mail virus@ipa.go.jp

INFORMATION TABLE

インフォメーションテーブル

起業・新分野進出のほか、経営や技術の高度化などに役立つ
情報を紹介するページです。

セミナー 経営力UP、技術力UP等に役立つセミナーのご案内です。

日程	テーマ	場所	時間	費用	お問い合わせ先
12月 3(月)	石川県産業大学講座・技術セミナー 『多元素同時型蛍光X線分析装置 SMX12を用いた定性・定量分析』	トライアル・ラボ (県工業試験場5F)	13:30~16:00	1,000円	県産業創出支援機構 TEL 076-267-1001
12月 4(火)	衛星通信講座 能力開発セミナー 『今すぐ始めよう! 御社の「IT戦略」』	雇用・能力開発機構 石川センター	10:00~17:00	3,000円	雇用・能力開発機構石川センター TEL 076-222-1731
12月 5(水)	石川県産業大学講座・技術セミナー 『表面処理製品の故障解析事例』	トライアル・ラボ (県工業試験場5F)	13:30~16:00	1,000円	県産業創出支援機構 TEL 076-267-1001
12月 6(木) 7(金)	ISO9000 内部品質監査員養成コース	金沢市異業種研修会館	9:30~17:00	15,000円	石川県鉄工機電協会 TEL 076-268-0121
12月11(火)	石川県産業大学講座・技術セミナー 『DNAチップ応用技術』	トライアル・ラボ (県工業試験場5F)	13:30~16:30	1,000円	県産業創出支援機構 TEL 076-267-1001
12月11(火)	異業種交流大学 『勝ち組への企業再生戦略』	県地場産業振興センター 本館3F 第3研修室	13:30~15:30	無料	石川県ニュービジネス創造化協会 TEL 076-268-1919
12月12(水)	石川県産業大学講座・技術セミナー 『三次元測定機の操作技術』	小松鉄工機器協同組合 精密測定センター	9:30~16:00	無料	県産業創出支援機構 TEL 076-267-1001
12月13(木)	衛星通信講座 雇用創出セミナー 『中小企業活性化の方策』	雇用・能力開発機構 石川センター	14:00~16:00	無料	雇用・能力開発機構石川センター TEL 076-222-1731
12月14(金)	石川県産業大学講座・技術セミナー 『21世紀のレーザ加工』	県地場産業振興センター 本館2F 第2研修室	13:30~16:30	1,000円	県産業創出支援機構 TEL 076-267-1001
12月15(土)	退職給付会計研修会 『退職給付会計』実務編	ホリデイ・イン金沢 3F エメラルドルーム	13:00~17:00	15,000円	日本公認会計士協会 北陸会 TEL 076-265-6625
12月17(月) 18(火)	石川県産業大学講座・技術セミナー 『品質工学』	トライアル・ラボ (県工業試験場5F)	9:00~17:00	2,000円	県産業創出支援機構 TEL 076-267-1001
1月 9(水) 10(木)	戦略的IT人材養成コース 『企業における情報人材養成』	県工業試験場 5F 第2研修室	13:00~17:00(9日) 9:00~15:00(10日)	15,000円	県ソフトウェア研修開発センター TEL 076-267-8000
1月10(木)	衛星通信講座 雇用創出セミナー 『新規事業への挑戦/企業経営者に学ぶ』	雇用・能力開発機構 石川センター	14:00~16:00	無料	雇用・能力開発機構石川センター TEL 076-222-1731
1月24(木)	石川県産業大学講座・技術セミナー 『生分解性プラスチック』	トライアル・ラボ (県工業試験場5F)	13:30~16:00	1,000円	県産業創出支援機構 TEL 076-267-1001
1月24(木)	石川県産業大学講座・技術セミナー 『真円度測定機の操作技術』	小松鉄工機器協同組合 精密測定センター	9:30~16:00	無料	県産業創出支援機構 TEL 076-267-1001
1月28(月) 29(火)	衛星通信講座 能力開発セミナー 『職場の問題解決研修』	雇用・能力開発機構 石川センター	9:00~16:00	14,000円	雇用・能力開発機構石川センター TEL 076-222-1741
1月29(火) 30(水)	実務者のためのIT活用コース 『携帯端末のためのホームページ作成法』	県ソフトウェア研修開発センター 2F 実習室	9:00~17:00	28,000円	県ソフトウェア研修開発センター TEL 076-267-8000
2月 7(木)	衛星通信講座 雇用創出セミナー 『中小企業活性化のための人材育成』	雇用・能力開発機構 石川センター	14:00~16:00	無料	雇用・能力開発機構石川センター TEL 076-222-1731

相談 どんな些細なことでもお聞きします。お気軽にご相談ください。

日程	テーマ	場所	時間	費用	お問い合わせ先
12月 2(日) 1月 6(日) 2月 2(日)	クレジット・サラ金・個人再生なんでも相談	石川県司法書士会	10:00~16:00	無料	石川県司法書士会 TEL 076-291-7070
12月 10(火) ~12(水)	ISICO事業化支援・個別相談会	新分野創造開発支援センター	10:00~16:00	無料	県産業創出支援機構 TEL 076-267-1001
2月 16(土)	許認可申請に関する相談会	県地場産業振興センター 第2会議室	9:30~16:30	無料	石川県行政書士会 TEL 076-268-9555

イベント ビジネス関連の各種フェア・シンポジウムのご案内です。

日程	テーマ	場所	時間	費用	お問い合わせ先
12月20(木) ~21(金)	第1回「科学技術倫理プログラムの構築」国際会議	金沢工業大学 多目的ホール他	13:00~15:00	有料	金沢工業大学研究支援機構事務局 TEL 076-294-6719
1月15(火)	平成13年度電気学会北陸支部主催学術講演会 『次世代電気ディスプレイの現状と将来』	金沢工業大学	15:30~16:30	無料	金沢工業大学研究支援機構事務局 TEL 076-294-6719
4月18(木) ~20(土)	ME X金沢2002	石川県産業展示館 3、4号館	10:00~17:00	無料	石川県鉄工機電協会 TEL 076-268-0121

金融 経営の安定や積極的な事業展開を支援する融資・助成制度のご紹介です。

産業IT化計画策定補助金

このたび、当支援機構では、石川県の支援を受けて、県内産業界のIT化の促進を図るため、「産業IT化計画策定補助金」を創設しました。
URL <http://www.isico.or.jp/itkeikaku.htm>

補助対象事業
石川県内の企業等が、経営の合理化や新たな経営戦略の実現を目指して、自社のIT化を計画する外部コンサルティング費用等の一部を補助します。()

特定非営利活動法人ITコーディネータ協会の認定するITコーディネータ(ITコーディネータ補を含む)を活用し、IT化を促進する企画や構想の策定を行うもの

補助対象企業
石川県内の企業等(株式会社、有限会社、合名会社、合資会社、その他産業関連業界支援のため設立された公益法人、社団法人、協同組合等)

補助対象経費
IT化計画の策定に要する外部コンサルティング経費(1件40万円以上)

補助金額
補助対象経費の1/2以内(限度額100万円)

補助金額は、各企業の申請後、予算の範囲内で交付するため、変動する場合があります

【ITコーディネータとは】

経営者の立場にたつて経営とITを橋渡しし、真に経営に役立つIT投資を推進・支援するプロフェッショナルです。
経済産業省の推進している「戦略的情報化投資活性化プロジェクト(ITSSP)の一環として資格認定が制度化されました。

中小企業再生支援プログラム

石川県ではこの度、再生に意欲があり、その可能性のある企業に対し、経営、金融両面から総合的に支援を行うため、中小企業再生支援プログラムを創設しました。

経営健全化推進セミナーの開催 現在の厳しい経済状況や金融環境の大きな変化の中で、中小企業者がその現状を正しく認識し、自らの置かれた立場を理解することで、今後の経営活動に役立てます。	経営安定対策特別融資の拡充 融資限度額の引き上げ (3,000万円 5,000万円)
相談体制の強化・充実 県、商工会議所、商工会、保証協会、産業創出支援機構等あらゆる窓口で、商工調停士、会計士、弁護士等が経営指導等の相談に応じます。	連鎖倒産防止・災害対策融資の拡充 融資限度額の引き上げ (3,000万円 5,000万円) 融資利率の引き下げ (1.6% 1.5%)
企業再生支援チームの設置 企業の再生可能性を高めるために、専門家(商工調停士、弁護士、会計士、金融機関、保証協会等)からなる支援チームを編成し、県商工会連合会と各商工会議所に設置します。	企業再生フォローアップ診断の実施 再生支援企業に対し、2年程度の継続的な経営診断をします。
中小企業再生支援保証制度の創設 保証限度額:8,000万円 保証期間:10年以内(据置2年以内) 連帯保証人:第三者保証人を徴求しない	お問い合わせ先 石川県商工労働部経営支援課 TEL076-223-9193 石川県信用保証協会 TEL076-222-1522 各商工会議所・商工会

「民間ITインキュベート施設」の追加認定

当支援機構が認定している「民間ITインキュベート施設」にEGG MART21(金沢市)が新たに認定されましたので、お知らせいたします。
認定施設のメリットとして、認定施設に入居するSOHO事業者に対し、入居時に必要なパソコン機器や什器備品、通信費等の経費助成制度⁽¹⁾があります。ビジネスプランの審査を経て、予算の範囲内で助成いたします。家賃等の詳細につきましては、個々の施設までお問い合わせください。

EGG MART21	URL http://www.eggmart21.jp
[通信環境] FTTHによる10Mbpsの通信設備を装備(インターネットは1.5Mbps)	
[部屋数等] 部屋数/13室 入居区画面積/高さ2.2mのパーテーションで区画	
[所在地] 金沢市下堤町17-1(近江町市場横) TEL.076-221-0021 FAX.076-221-9765	

廃棄物問題の解決と 新事業の実現を目指して 豊かさ創造プロジェクトが発足

ISICOがコーディネートする「地域産学官連携豊かさ創造研究開発プロジェクト」の13年度の発足式が、10月3日、金沢市の県地場産業振興センターで開かれ、関係者など約100名が出席した。

今年度採択されたテーマは、「多段蒸留方式による有機汚泥ゼロエミッション処理技術の確立」。下水汚泥の中から金属類を分離し、リサイクルする技術を研究する。

プロジェクトには、(株)アクトリー、互洋物産(株)(株)豊商の県内企業3社と、金沢大学、中部大学、石川県工業試験場が参加。廃棄物の減量と再利用化の問題を解決し、事業化によって新産業の創出につなげるのが目的だ。今後は、県からの補助を受けながら、3年間の共同研究を進めていく。



約100名が出席して開かれた発足式

10組が ビジネスプランを発表 金沢大学で起業家育成セミナー

ISICOなどが主催する起業家育成セミナー「ベンチャーへの挑戦in金沢大学」が、10月16日、同大工学部で開かれ、大学院生のグループ10組がビジネスプランを発表した。

同セミナーは、大学生の起業家マインドを育成する目的で開催しており、学生たちは日ごろの研究成果をもとに、多彩なプランを提案し、同大学院自然研究科長の尾田十八氏をはじめとする審査員のアドバイスに熱心に耳を傾けていた。



プラン発表のあと、審査員によるパネルディスカッションも行われた

県バリアフリー機器等 調査会が11点を出展 国際福祉機器展が開催

第28回国際福祉機器展が、10月24日～26日、東京ビッグサイト(東京・江東)で開催され、国内外から過去最多の635社が参加し、数々のアイデアを盛り込んだ25,000点を超える福祉機器が展示された。

同展には、石川県バリアフリー機器等開発研究調査会も11点を出展し、石川の企業の持つ独自技術を福祉機器に生かした製品が、来場者や関係者の注目を集めた。



視覚障害者用住所録ソフト「VDJW」



携帯型色認識発声装置「カラートーク」

アイデアが光る 個性豊かな作品が集まる 石川県発明くふう展に力作

県発明協会が主催する第37回石川県発明くふう展が、10月19日から21日まで、金沢市の県地場産業振興センターで開かれ、学校部門と一般部門に合わせて237点の発明品が展示された。

産業振興を図る目的で開催された一般部門では、前年の1.5倍にあたる66点の応募があった。最高賞の(社)発明協会長奨励賞に、肥田電器㈱の「CDカードケース」が選ばれたのはじめ、県発明協会長賞は霜幸雄氏「携帯用マグネット式矢印板」が受賞し、その他合計18点が各賞に輝いた。

石川県発明協会長賞
霜幸雄
「携帯用マグネット式矢印板(下)」



(社)発明協会長奨励賞
肥田電器(株)
「CDカードケース(上)」



財団法人
**石川県
産業創出支援
機構**
Ishikawa
Sunrise Industries
Creation
Organization

●お問い合わせは
TEL:076(267)1001
FAX:076(268)4911

〒920-0223 石川県金沢市戸水町イ65番地
石川県地場産業振興センター新館1階

URL <http://www.isico.or.jp>
E-mail info@isico.or.jp

13イベントに51社が参加 バリアフリーキャラバンを実施

石川県バリアフリー機器等開発研究調査会では、県内市町村のバリアフリー関連行事に製品を出展する「バリアフリーキャラバン」を実施し、8月7日の「羽咋市社会福祉大会」から11月16日の「介護保険推進全国サミットin加賀」まで、延べ51社が13のイベントに参加した。

各会場では、製品を実際に触って試す人が多く、会員が開発した製品カタログも毎回100部程度が出るなど、来場者の関心の高さがうかがえた。

出展企業からも、「自社製品をアピールする絶好の機会となり、製品に対する消費者の生の感想を聞くことができ良かった」と好評で、同会では、今後も会員企業の販売促進の支援に取り組んでいく。



地元企業の製品は各会場で注目を集めた

お店とお客が触れ合える コンテンツを充実

「お店ばたけISHIKAWA」がリニューアル

ISICOが3月からインターネット上に開設したバーチャルモール「お店ばたけISHIKAWA」が、開設から半年を迎えたのを機にデザインを一新し、内容を強化してリニューアルオープンした。

リニューアル後のページでは、出店者の素顔に触れられる「今月のお店」やメールマガジン「お店ばたけ風だより」など、「IT(アイタイ)革命」をキャッチフレーズに、出店者と利用者の交流を助けるコンテンツがより一層充実している。

また、ホームページドクターがバーチャルショップ経営のために必要な知識を教える「バーチャルショップ道場スペシャル」も加わり、新たに出店を目指す人にも役立つ内容となっている。詳しくは、下記ホームページまで。



<http://www.omisebatake-isico.com/>

編集後記

厳しい経済不況下において、先進的な経営革新や技術革新に取り組み、この苦境を乗り切ろうと努力している本県鉄工・繊維業界を取材して、頼もしく、かつ力強い息吹を感じました。ISICOでは、専門スタッフを配置し、技術開発や新分野進出等に関するご相談に応じております。お気軽にお立ち寄り下さい。